平成25年度 リニアドライブ技術委員会 活動報告

委員長 北野淳一

1. 技術会合(シンポジウム, 見学会, 産業応用フォーラム, 講習会) ※年度内(4月~翌年3月)分をすべて記載.

| 予定 | シンポジウム:2回, 見学会:2回, 産業応用フォーラム:2回, 講習会:0回 | | | | | | | | |
|-------|---|------------------|------|------|--|--|--|--|--|
| 開催日 | 会合種類 | 会合名 | 場所 | 実施状況 | | | | | |
| 8/30 | D部門大会シンポジウム | 環境調和型磁気支持応用技術の現状 | 山口大学 | 6件 | | | | | |
| 8/2 | 見学会(TER合同) | ゼロエミッションステーション | 平泉駅 | 名 | | | | | |
| 未定 | 見学会 | LD関連施設 | 未定 | 名 | | | | | |
| 未定 | 産業応用フォーラム | 検討中 | 未定 | 名 | | | | | |
| H26.3 | 全国大会シンポジウム | 仮題:産業用LD技術の応用展開 | 愛媛大学 | 件 | | | | | |

2.研究会予定と実施(実績/予定) ※1月~12月, および翌年1月~3月をすべて記載.

| 開催年月日 | 2/21,22 | 3/11 | 6/20,21 | 8/1,2 | 8/8,9 | 10/7,8 | 12/ |
|-------------|----------|---------|---------|-----------|----------|----------|---------|
| テーマ | 「リニアモータ | 「多自由度・新 | 「磁気センサ, | 「電気鉄道, リ | 「小形モータ | 「多自由度·新 | 「モータードラ |
| (共催機関) | 一般およびそ | 世代アクチュ | リニアドライ | ニアドライブー | 一般•永久磁 | 原理アクチュ | イブ一般,磁 |
| | の周辺技術の | エータ,リニア | ブ,および磁 | 般」(TER共催) | 石モーター般 | エータ, 医用 | 気支持・リニア |
| | 応用」 | ドライブ一般と | 気応用一般」 | | /リニアドライ | アクチュエー | モーター般」 |
| | | その要素技 | (MAG共催) | | ブ一般/家電・ | ション, 医療応 | (MD共催) |
| | | 術」 | | | 民生一般」 | 用,LD一般と | |
| | | | | | (RM·HCA共 | その周辺技 | |
| | | | | | 催) | 術」 | |
| 場所 | 東京(電気学会) | 東京(東京大) | 長野(信州大) | 一関 | 大阪工大 | 札幌(北大) | 種子島 |
| 日数 | 2 | 1 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| 論文数 (実績/予定) | 21/20 | 10/10 | 20/20 | /12 | /20 | /20 | /20 |
| 論文累計(実績/予定) | 21/20 | 31/30 | 51/50 | /62 | /82 | /102 | /122 |
| 参加者数 | 45 | 30 | | | | | |

3. 特記事項

- ・技術報告第1247号「磁気支持応用技術と環境調和」2012年4月20日発行(環境調和型磁気支持応用技術(調))
- ・技術報告第1259号「産業用リニアドライブ技術と応用と変遷」2012年8月30日発行(産業用LD技術&応用変遷(調)) ☆発行済み
- ・技術報告第1265号「新世代アクチュエータの多自由度化可能性」2012年10月25日発行(新世代MDD(調))
- ・電気学会誌『技術探索』「産業用リニアドライブ技術と応用の変遷」2013年1月号(産業用LD技術&応用変遷(調))
- ・第25回「電磁力関連のダイナミクス」シンポジウム 共催(5/15~17, 小涌園) 一般講演138件, 特別講演1, 基調講演2
- •国際会議第9回LDIA2013 共催 2013/7/7~10 杭州 中国
- •6月研究会 信州大学脇若弘之教授記念講演。
- ·10月研究会 日本生体医工学会北海道支部連携 東海大学岡本英治先生特別講演。北大 野口·竹本研究室見学会。

以上

【記入要領】

- ・青字の箇所を記入する. (青字は記載例.)
- 複数ページにわたっても構わない。

報告書番号(ページ右上):H23-□-4-○

- ・□の中には, 運営委員会(年4~5回)の開催時期に対応するアルファベットを記入する. 6月頃 "A", 9/10月頃 "B", 12月頃 "C", 3月頃 "D"
- ・○の中には技術委員会ごとの番号を記入する.

委員会番号

1=半導体電力変換, 2=モータドライブ, 3=産業計測制御, 4=回転機, 5= リニアドライブ, 6=交通・電気鉄道, 7=自動車, 8=ITS, 9=家電・民生, 10=ものづくり, 11=次世代産業システム, 12=生産設備管理, 13=公共施設例: 平成20年12月の運営委員会での,ものづくり技術委員会の活動報告の資料番号は「H23-C-4-11」.

1. 技術会合

- ・技術会合の開催計画(予定)は、当該年度(4月~翌年3月)の「技術会合、見学会等の開催予定(N次案)」で報告している.
- ・シンポジウム、見学会、産業応用フォーラム、講習会などの開催状況(実施・予定)について記載する.
- ・当該年度の4月から翌年3月に実施・予定されている技術会合について、報告済みのものを含めてすべて記載する.
- ・シンポジウム(全国大会, D部門大会)については、講演件数を"実施状況欄"に記載する.
- ・見学会, 産業応用フォーラム, 講習会などについては, 参加人数を"実施状況欄"に記載する.

2.研究会予定と実施

- ・研究会の開催計画は、当該年度(4月~翌年3月)の「研究会の開催予定(N次案)」で報告している。
- ・当該年の1月から12月、および翌年1月から3月に実施・予定されている研究会について、報告済みのものを含めてすべて記載する.
- ・論文数、および論文数累計では「実績/予定」の形式で数値を記載する.
- ・累計は1月~12月を期間として計数する. 翌年1月から3月分は別累計.

3. 特記事項

・各種の特記事項を記載する. 特集号の企画・実施や、他学会との研究会共催、国際会議でのセッション提案、 新聞取材など、様々な活動について記載する.

以上